

愛は食卓にある。



# 2023年度 決算説明資料

キューピー株式会社 2024年1月10日

愛は食卓にある。



1. 2023年度 概要
2. 企業価値向上に向けた取り組み
3. 参考資料

## 本資料の記載について

- 本資料における記載金額は、億円表示の場合は億円未満を四捨五入しています。
- 海外の数値は、10月-9月が対象となり、日本からの輸出を含んでいます。  
なお、日本からの輸出は12月-11月が対象となります。
- 海外の2023年度の前年差の合計には、為替影響（売上高+51億円、営業利益+7億円）が含まれます。2024年度通期計画の前年差の合計には、為替影響（売上高+11億円、営業利益+1億円）が含まれます。

# 1. 2023年度 概要

## 環境

原資材高騰 × 円安更新 × 鶏卵不足

## 業績概要

売上高

4,551億円  
増収 (+248億円)

- 海外伸長による増収
- 調味料・業務用タマゴの価格改定等による増収

営業利益

197億円  
減益 (△57億円)

- 海外伸長による増益
- 主原料やエネルギー・一般原資材の高騰による減益

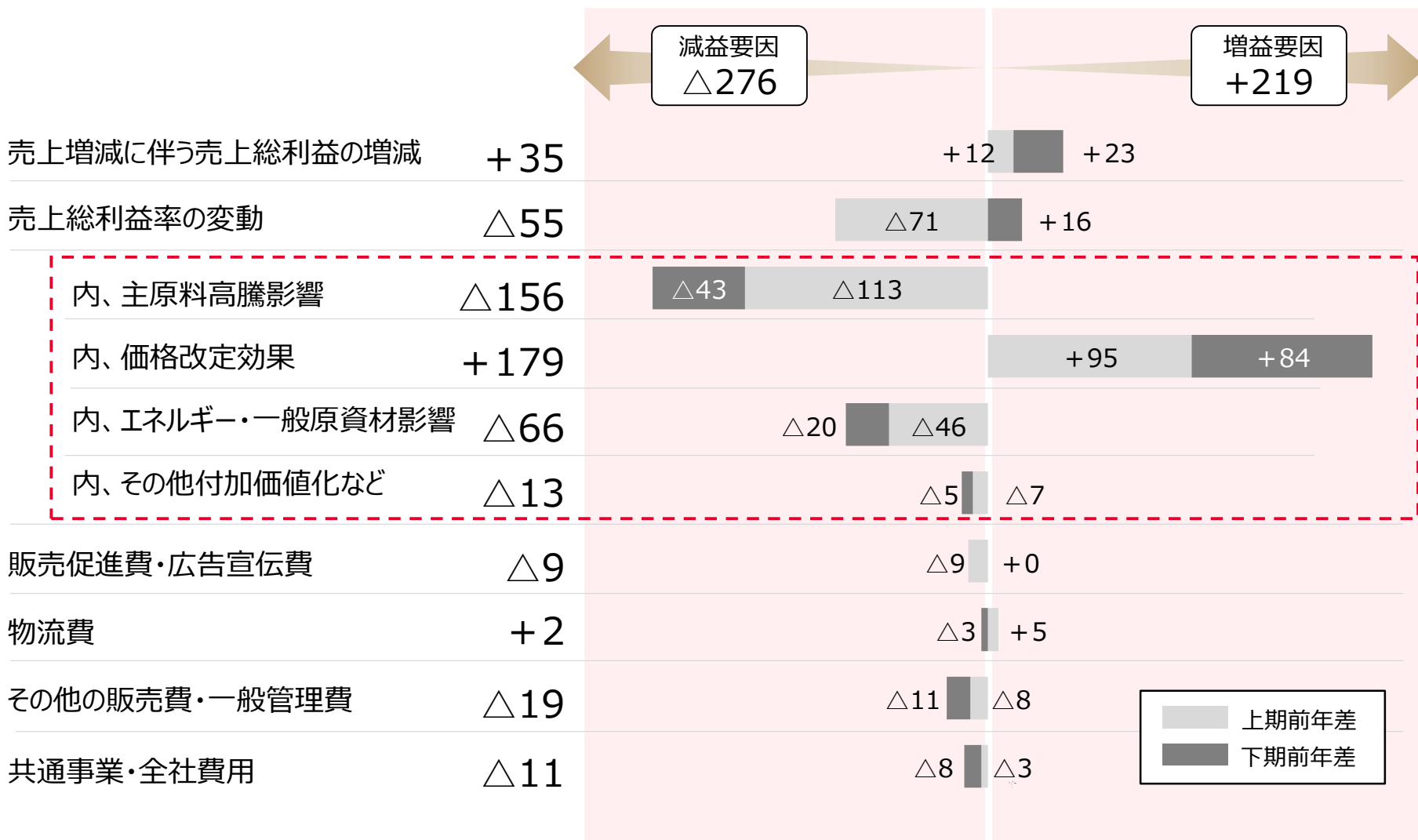
親会社株主に帰属する  
当期純利益132億円  
減益 (△29億円)

- 関係会社株式売却益の増加
- 減損損失の増加

**営業利益**

2023年度 **197億円** 前年差 **△57億円** (上期 **△74億円** / 下期 **+17億円**)

(単位：億円)



## 売上高

 2023年度 **4,551**億円 前年差 **+248**億円 増減率 **+6%**

(単位：億円)	2022年度	2023年度	前年差	増減率	上期 前年差	下期 前年差
市販用	1,734	1,774	+40	+2%	+16	+25
業務用	1,588	1,653	+65	+4%	+55	+10
海外	663	783	+120	+18%	+46	+74
フルーツソリューション	165	170	+5	+3%	△1	+6
ファインケミカル	100	112	+12	+12%	+6	+5
共通	53	60	+6	+12%	+6	+0

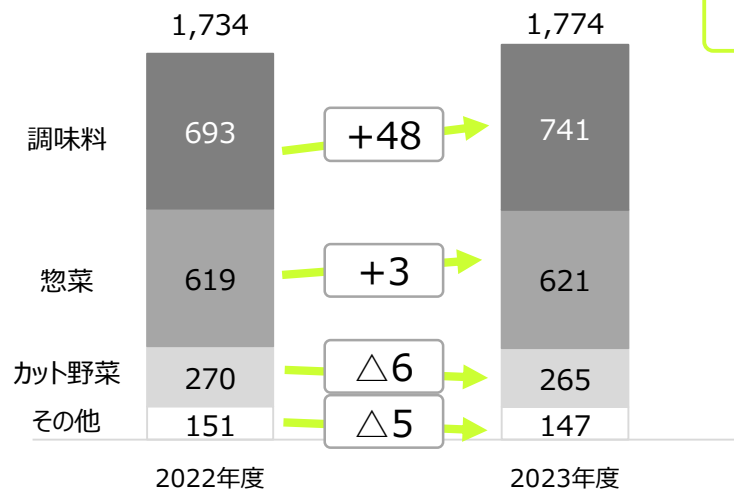
## 事業利益

 2023年度 **197**億円 前年差 **△57**億円 増減率 **△23%**

(単位：億円)	2022年度	2023年度	前年差	増減率	上期 前年差	下期 前年差
市販用	134	99	△35	△26%	△30	△5
業務用	69	41	△28	△40%	△28	△0
海外	85	103	+18	+22%	△6	+25
フルーツソリューション	3	3	+0	+2%	△1	+1
ファインケミカル	13	10	△2	△18%	△6	+4
共通	12	12	△0	△0%	+0	△0
全社費用	△62	△73	△11	—	△3	△7

売上高

2023年度 **1,774**億円 前年差 **+40**億円 増減率 **+2%**

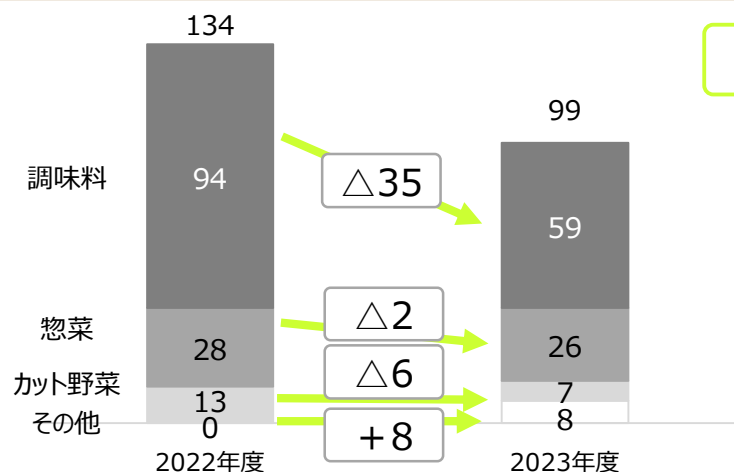


価格改定やドレッシングの物量増等で増収

(単位：億円)	2023年度	前年差	増減率	上期前年差	下期前年差
調味料	741	+48	+7%	+27	+21
惣菜	621	+3	+0%	△3	+6
カット野菜	265	△6	△2%	△6	△0

事業利益

2023年度 **99**億円 前年差 **△35**億円 増減率 **△26%**

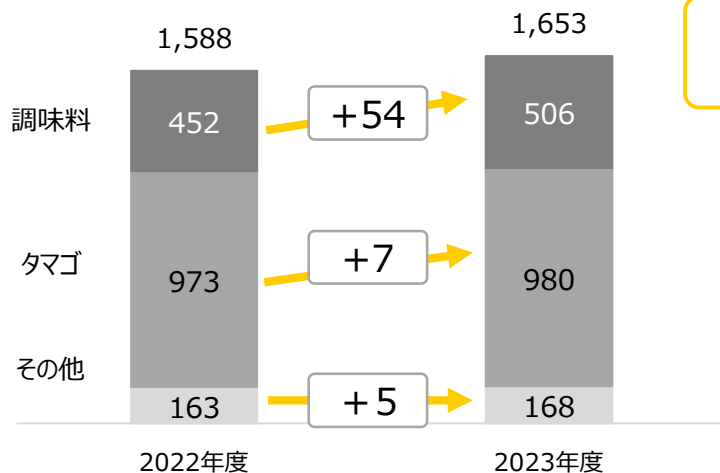


主原料高騰等による影響を受け減益

(単位：億円)	2023年度	前年差	増減率	上期前年差	下期前年差
調味料	59	△35	△37%	△23	△12
惣菜	26	△2	△7%	△5	+3
カット野菜	7	△6	△45%	△5	△1

売上高

2023年度 **1,653**億円 前年差 **+65**億円 増減率 **+4%**

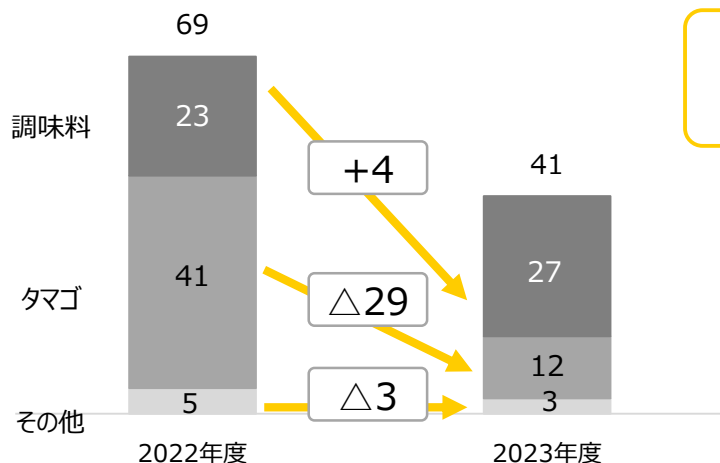


価格改定やタマゴ商品の販売単価が相場高騰により上昇し増収

(単位：億円)	2023年度	前年差	増減率	上期前年差	下期前年差
調味料	506	+54	+12%	+24	+30
タマゴ	980	+7	+1%	+32	△25

事業利益

2023年度 **41**億円 前年差 **△28**億円 増減率 **△40%**

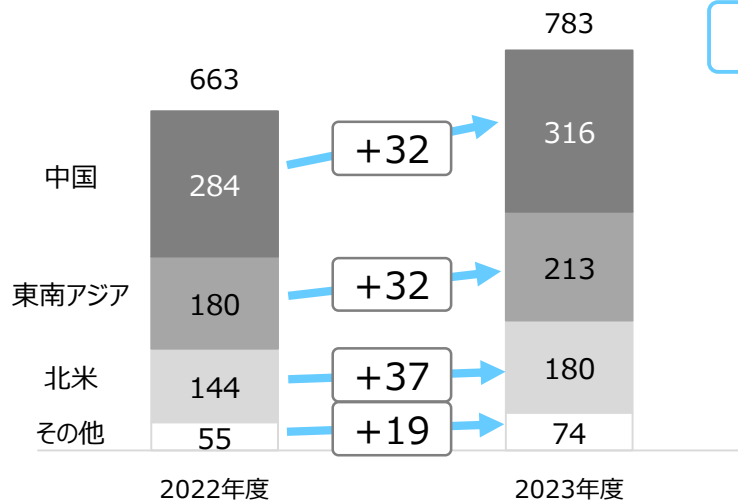


価格改定が浸透するも鳥インフルエンザによる影響を受け減益

(単位：億円)	2023年度	前年差	増減率	上期前年差	下期前年差
調味料	27	+4	+17%	△5	+9
タマゴ	12	△29	△71%	△19	△10



## 売上高

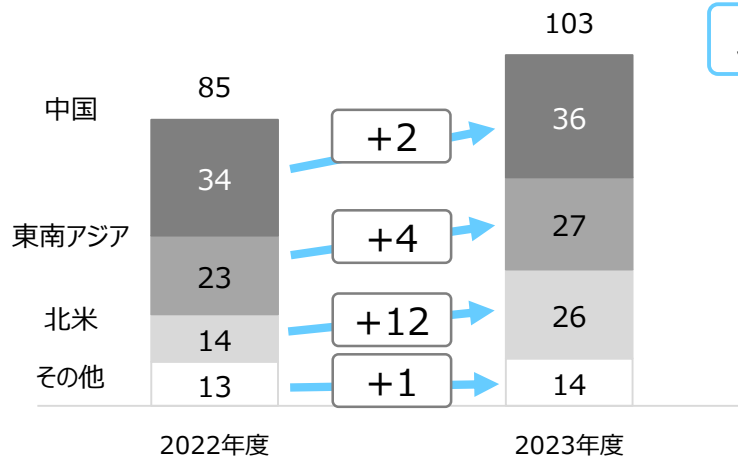
2023年度 **783**億円 前年差 **+120**億円 増減率 **+18%**

## 北米の伸長、東南アジア・中国が堅調に推移し増収

(単位：億円)	2023年度	前年差	増減率	上期 前年差	下期 前年差
中国	316	+32	+11%	+5	+27
東南アジア	213	+32	+18%	+21	+11
北米	180	+37	+26%	+15	+22

※為替影響 売上高(前年差)+51億円

## 事業利益

2023年度 **103**億円 前年差 **+18**億円 増減率 **+22%**

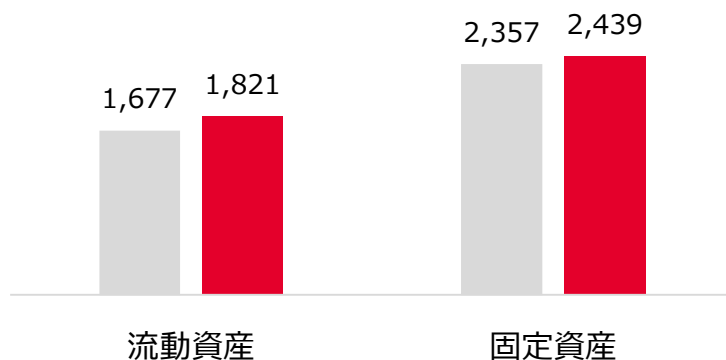
## 北米のブランド品拡大、東南アジアの業務用拡大により増益

(単位：億円)	2023年度	前年差	増減率	上期 前年差	下期 前年差
中国	36	+2	+5%	△8	+10
東南アジア	27	+4	+20%	+1	+4
北米	26	+12	+80%	+2	+10

※為替影響 事業利益(前年差)+7億円

■ 2022年度 ■ 2023年度

## 資産の部



前年期末差

### 流動資産

**+144億円**

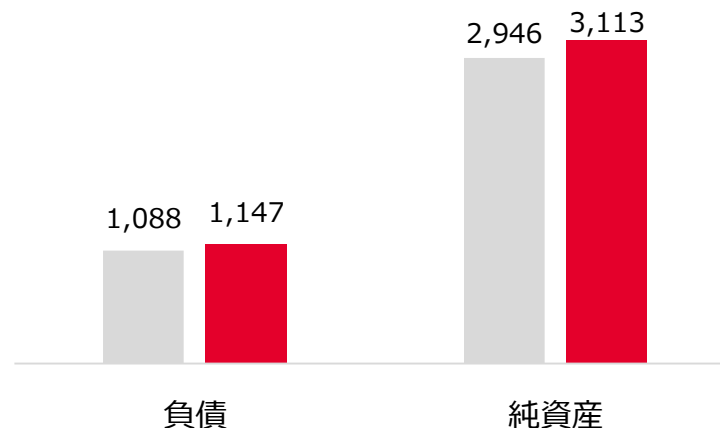
- ・現預金の増加                    ↑ +88
- ・棚卸資産の増加                ↑ +69
- ・売掛債権の増加                ↑ +51
- ・有価証券の減少                ↓ △80

### 固定資産

**+83億円**

- ・退職給付に係る資産の増加    ↑ +70

## 負債・純資産の部



前年期末差

### 負債

**+59億円**

- ・繰延税金負債の増加            ↑ +32
- ・その他固定負債の増加        ↑ +22

### 純資産

**+167億円**

- ・利益剰余金の増加                ↑ +62
- ・退職給付に係る調整累計額の増加    ↑ +43

## 経営指標

	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度計画	中期経営計画目標
ROE	7.4%	6.2%	4.8%	4.9%	8%以上
営業利益率	6.9%	5.9%	4.3%	5.3%	7.5%
海外伸長率 (現地通貨ベース)	+19%	+10%	+10%	+14%	年率10%以上

## 売上高

## 営業利益

### 中期経営計画目標

4,100～4,400億円

310～330億円

### 想定以上の逆風

コスト高影響  
鳥インフルエンザ影響

### 取り組み・成果

海外での成長加速  
国内収益性の向上

### 2024年度計画

4,800億円

255億円

## 2. 企業価値向上に向けた 取り組み

変動・不確実・複雑・曖昧

人手不足

疫病

地政学リスク

ニーズの多様化

国内の人口減

鳥インフルエンザ

2024年問題

アニマルウェルフェア

VUCA時代を勝ち抜くため資源投下先を明確化

**国内高質化**

**海外成長**

**サステナビリティ**

新たな価値を創出し、再成長のステージへ

# 「コア領域の付加価値化」と「新規領域への投資」により利益体質を強化

## 付加価値化

## SCM最適化

## 市場開拓

新規領域

### GREEN KEWPIE

ラインアップの強化(グローバルブランド展開)

【2024年春 新商品】



市販用

業務用

### 酢酸菌ビジネス

キューピー独自の「酢酸菌GK-1」販路拡大



【今後の展開】

- ・自社通販 (サプリメント)
- ・自社グループ商品で活用
- ・他社への原料供給

コア領域

### サラダ・基幹商品

サラダファースト推進と基幹商品の付加価値化



基幹商品の付加価値化

健康機能品の強化

### ソースワールド・タマゴ商品

顧客ニーズに合わせた提案により市場開拓



メニュー拡大

人手不足の解消

タマゴ商品で価値向上

## 国内市場の深耕・拡大

※サラダファースト・・・お客様にサラダを食べていただく機会を増やすことを目的に、キューピーグループが実践しているサラダの魅力を発信する取り組み

# キユーピーならではのサラダ文化の浸透・定着を図る

世界戦略商品に集中

ブランド事業の拡大

食文化に適したローカル対応

## 投資により成長を加速・リージョン内での統括機能強化

### アジアパシフィック

キユーピータイランド工場新棟



キユーピーインドネシア工場新棟



### 米州

Q&B FOODS, INC テネシー州新工場



オーストラリア販社設立  
KEWPIE AUSTRALIA  
PTY. LTD.(仮)  
2024年7月事業開始

インドネシア内の  
需要増加を見据えた  
供給体制

東海岸へのサプライチェーン確立

既存拠点と合わせ米州攻略

※写真は完成予想図

事業利益 49億円 (2020年度実績) ⇒ 120億円 (2024年度計画)

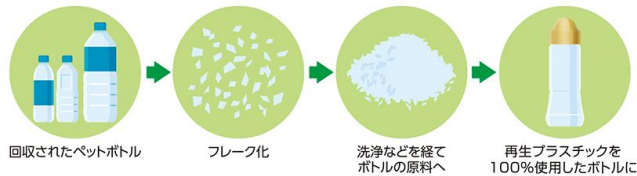
# サステナビリティの活動が加速 → 前倒しで中計目標を達成

資源の有効活用・循環	プラスチックの削減・再利用	<b>プラスチック排出量削減率</b> (2018年度比)	2022年度 <b>7.8%</b> (2023年度算定中)	2024年度目標 8%以上	2030年度目標 30%以上	12 持続可能な消費
		<b>食品残さ削減率</b> (2015年度比)	2023年度 <b>59.6%</b>	2024年度目標 50%以上	2030年度目標 65%以上	12 持続可能な消費
	食品ロスの削減・有効活用	<b>野菜未利用部有効活用率</b> 主要野菜：キャベツなど(当年)	2023年度 <b>82.7%</b>	2024年度目標 70%以上	2030年度目標 90%以上	12 持続可能な消費
		<b>商品廃棄量削減率</b> (2015年度比)	2023年度 <b>75.4%</b>	2024年度目標 60%以上	2030年度目標 70%以上	12 持続可能な消費
気候変動への対応	CO <sub>2</sub> 排出量の削減	指標 <b>CO<sub>2</sub>排出量削減率</b> (2013年度比)	2023年度 <b>34.3%</b>	2024年度目標 30%以上	2030年度目標 50%以上	7 気候変動への対応 13 気候変動への対応



## 資源の有効活用・循環 プラスチック

**国内調味料初！** テイस्टイドレッシングと機能性ドレッシング  
全品に**100%再生PET樹脂ボトル**を採用



**海外でも！** キューピーマレーシアで  
再生PET樹脂ボトルドレッシングを展開



## 気候変動への対応

**キューピーグループ初！**  
神戸工場CO<sub>2</sub>ネットゼロの実現



## 食品ロスの削減

キャベツの芯を活用した  
**アップサイクル商品**



6種野菜のミネストローネ

コーンとキャベツのポタージュ

※コープデリ生活協同組合連合会の専用商品です

## 業績概要

売上高

4,800億円

増収 (+249億円)

- 海外伸長による増収
- 調味料、業務用タマゴの伸長および回復による増収

営業利益

255億円

増益 (+58億円)

- 海外伸長による増益
- 主原料影響および付加価値化等の取り組みによる増益
- 成長投資等による全社費用増加

経常利益

267億円

増益 (+62億円)

- 持分法投資利益の増加

親会社株主に帰属する  
当期純利益

138億円

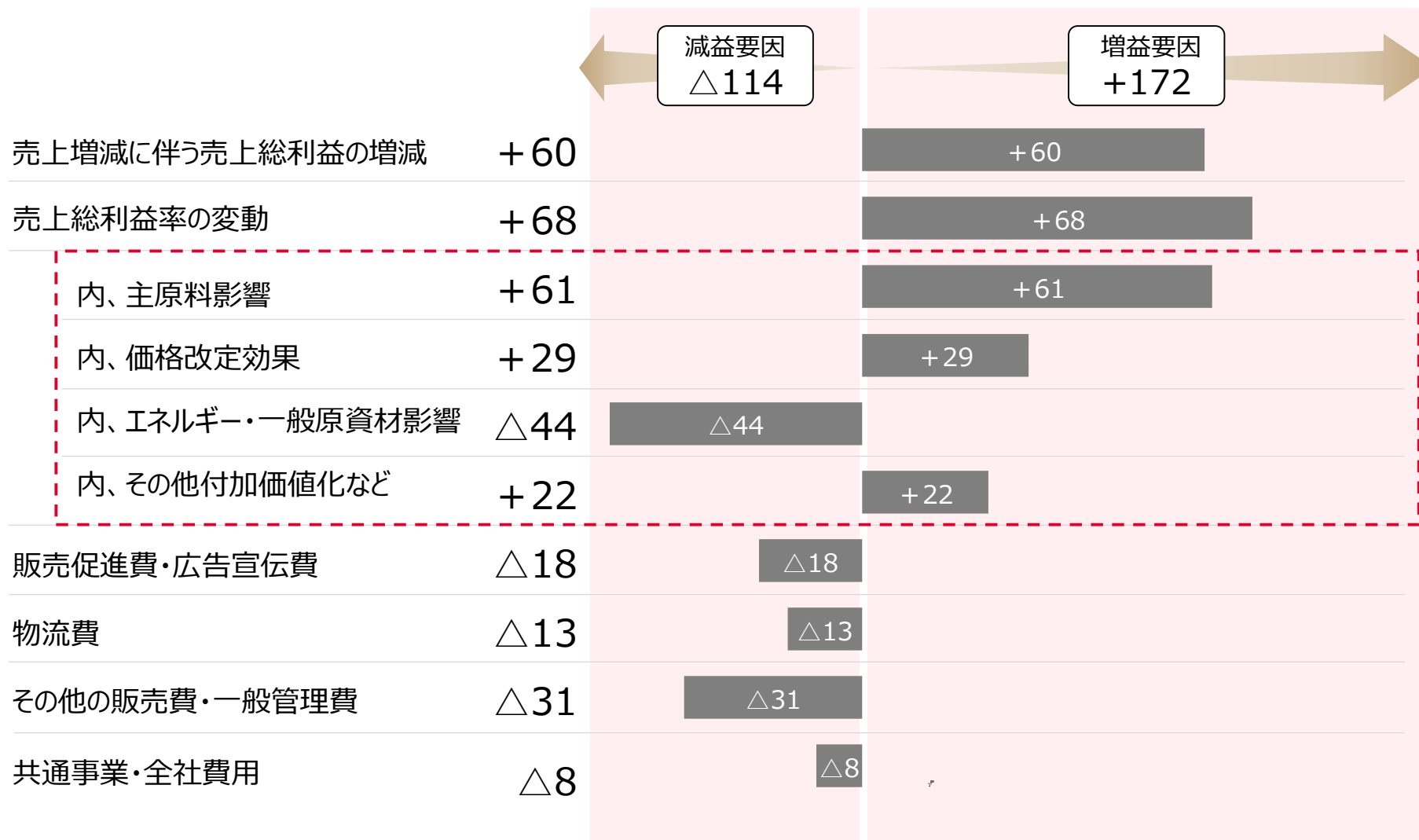
増益 (+6億円)

- 関係会社株式売却益の減少
- 投資有価証券売却益の減少

営業利益

2024年度 **255億円** 前年差 **+58億円**

(単位：億円)



### 3. 参考資料

(単位：億円)	2022年度	2023年度	前年差	増減率	2024年度計画		
					計画	前年差	増減率
市販用	1,734	1,774	+40	+2%	1,799	+25	+1%
調味料	693	741	+48	+7%	770	+29	+4%
惣菜	619	621	+3	+0%	625	+4	+1%
カット野菜	270	265	△6	△2%	265	+0	+0%
その他	151	147	△5	△3%	139	△8	△5%
業務用	1,588	1,653	+65	+4%	1,736	+83	+5%
調味料	452	506	+54	+12%	522	+16	+3%
タマゴ	973	980	+7	+1%	1,060	+80	+8%
その他	163	168	+5	+3%	154	△14	△8%
海外	663	783	+120	+18%	901	+118	+15%
中国	284	316	+32	+11%	391	+75	+24%
東南アジア	180	213	+32	+18%	236	+23	+11%
北米	144	180	+37	+26%	192	+12	+6%
その他	55	74	+19	+35%	82	+8	+11%
フルーツ ソリューション	165	170	+5	+3%	179	+9	+6%
ファインケミカル	100	112	+12	+12%	123	+11	+10%
共通	53	60	+6	+12%	62	+2	+4%
合計	4,303	4,551	+248	+6%	4,800	+249	+5%

※ 海外の前年差には、為替影響(2023年度前年差：売上高+51億円、2024年度計画前年差：売上高+11億円)が含まれています。

(単位：億円)	2022年度	2023年度	前年差	増減率	2024年度計画		
					計画	前年差	増減率
市販用	134	99	△35	△26%	116	+17	+17%
調味料	94	59	△35	△37%	77	+18	+31%
惣菜	28	26	△2	△7%	29	+3	+13%
カット野菜	13	7	△6	△45%	8	+1	+12%
その他	0	8	+8	+11,186%	2	△6	△75%
業務用	69	41	△28	△40%	75	+34	+81%
調味料	23	27	+4	+17%	32	+5	+20%
タマゴ	41	12	△29	△71%	40	+28	+230%
その他	5	3	△3	△49%	3	+0	+16%
海外	85	103	+18	+22%	120	+17	+16%
中国	34	36	+2	+5%	49	+13	+36%
東南アジア	23	27	+4	+20%	31	+4	+13%
北米	14	26	+12	+80%	26	+0	+0%
その他	13	14	+1	+4%	14	+0	+2%
フルーツ ソリューション	3	3	+0	+2%	1	△2	△69%
ファインケミカル	13	10	△2	△18%	12	+2	+15%
共通	12	12	△0	△0%	11	△1	△9%
全社費用	△62	△73	△11	-	△80	△7	-
合計	254	197	△57	△23%	255	+58	+29%

※ 海外の前年差には、為替影響(2023年度前年差：営業利益+7億円、2024年度計画前年差：営業利益+1億円)が含まれています。

## 2023年度

(単位：億円)

	売上増減に伴う 売上総利益の増減	売上総利益率 の変動	販売促進費・ 広告宣伝費	物流費	その他の販売費・ 一般管理費	前年差
市販用	+3	△39	△2	△0	+3	△35
業務用	△16	△13	△0	+4	△3	△28
海外	+39	+2	△4	△2	△16	+18
フルーツソリューション	+2	△2	△0	+0	△0	+0
ファインケミカル	+7	△4	△2	△0	△3	△2
合計	+35	△55	△9	+2	△19	△47

## 2024年度計画

(単位：億円)

	売上増減に伴う 売上総利益の増減	売上総利益率 の変動	販売促進費・ 広告宣伝費	物流費	その他の販売費・ 一般管理費	前年差
市販用	+5	+26	△6	△4	△4	+17
業務用	+10	+32	+1	△3	△7	+34
海外	+34	+12	△7	△5	△17	+17
フルーツソリューション	+3	△3	△0	△1	△0	△2
ファインケミカル	+9	+2	△5	△1	△3	+2
合計	+60	+68	△18	△13	△31	+67

(単位：億円)		2023年度		2024年度計画	
売上増減に伴う売上総利益の増減		<b>+35</b>		<b>+60</b>	
売上高影響	海外での売上伸長	+39	+35	海外での売上伸長	+34
	業務用の販売減少	△16		業務用の販売増加	+10
	ファインケミカルの販売増加	+7		ファインケミカルの販売増加	+9
売上総利益率の変動		<b>△55</b>		<b>+68</b>	
製造コスト影響	業務用の操業度低下	△18	△25	業務用の操業度回復	+6
	市販用の操業度低下	△7		市販用の操業度回復	+2
主原料コスト影響	調味料の主原料	△116	△156	調味料の主原料	+51
	国内鶏卵相場影響	△40		国内鶏卵相場影響	+10
付加価値品の向上				海外および付加価値品の伸長	+14
その他	エネルギー・一般原資材影響	△66	+125	エネルギー・一般原資材影響	△44
	価格改定効果	+179		価格改定効果	+29
販売促進費・広告宣伝費		<b>△9</b>		<b>△18</b>	
販売促進費・広告宣伝費	海外の販促活動	△4	△9	海外の販促広告費増	△7
	ファインケミカルの広告宣伝費	△2		市販用の販促広告費増	△6
物流費		<b>+2</b>		<b>△13</b>	
物流費	業務用の物量の減少	+4	+2	市販用・業務用・海外の物流費増	△12
その他の販売費・一般管理費		<b>△19</b>		<b>△31</b>	
その他販売費・一般管理費	基幹システムの導入に伴う経費、労務費の増加 など	△19	△19	労務費の増加、新規取り組み費用 など	△31



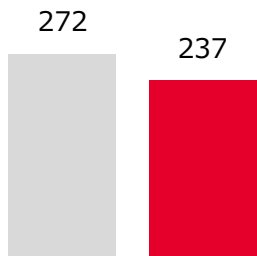
(単位：億円)

2023年度	2022年度	2023年度	前年差	主な要因
営業利益	254	197	△57	
営業外損益	18	8	△10	<ul style="list-style-type: none"> <li>受取利息の増加 +3</li> <li>持分法による投資損益の増減 △13</li> </ul>
経常利益	272	205	△68	
特別損益	△6	16	+22	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係会社株式売却益の増加 +17</li> <li>投資有価証券売却益の増加 +5</li> </ul>
税引前利益	266	221	△46	
法人税等 非支配株主に帰属する当期純利益	106	89	△17	
親会社株主に帰属する当期純利益	160	132	△29	

2024年度計画	2023年度	2024年度 計画	前年差	主な要因
営業利益	197	255	+58	
営業外損益	8	12	+4	
経常利益	205	267	+62	
特別損益	16	△27	△43	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係会社株式売却益の減少 △30</li> <li>投資有価証券売却益の減少 △7</li> </ul>
税引前利益	221	240	+19	
法人税等 非支配株主に帰属する当期純利益	89	102	+13	
親会社株主に帰属する当期純利益	132	138	+6	

■ 2022年度 ■ 2023年度

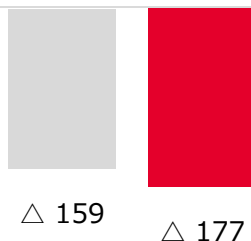
## 営業キャッシュ・フロー



税金等調整前  
当期純利益の減少

前年増減  
↓ △46

## 投資キャッシュ・フロー



無形固定資産の  
取得による支出の減少

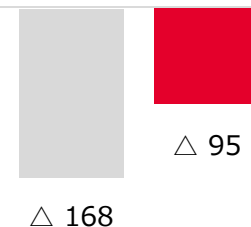
前年増減  
↑ +20

---

定期預金の  
預入による支出の増加

前年増減  
↓ △37

## 財務キャッシュ・フロー



短期借入金の  
返済による支出の増加

前年増減  
↑ △26

---

長期借入金の  
返済による支出の減少

前年増減  
↓ +100

## 設備投資の状況

2023年度 **178**億円    2024年度計画 **207**億円

(単位：億円)		2021年度	2022年度	2023年度
マヨネーズ	国内	459	504	570
	海外	269	355	409
ドレッシング	国内	388	373	387
	海外	154	183	223
合計	国内	846	877	957
	海外	423	538	632
	計	1,269	1,415	1,588

この説明会資料に掲載されている、キューピー株式会社の業績見通し等の将来に関する記述は、当社がその時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等によってこれらと異なる結果になる場合があります。

当社が開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関するご決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

万一これら情報の利用者が何らかの損害を被ったとしても、当社および当社の情報提供者は一切責任を負いません。

## 《お問い合わせ先》

キューピー株式会社 経営企画部IRチーム  
TEL : 03-3486-3331